

プロジェクト名：ミクロネシア国コショウ栽培計画調査（JICA 融資案件）

（調査期間：1987年3月～2ヵ月、担当業務：土壌調査）

調査背景

ミクロネシア連邦ポナペ島においては高品質のコショウが栽培できるにもかかわらず、他の生産地と比較して市場までの距離が遠いというマーケティング上の問題もあって未だそのポテンシャルが十分に活かされていない。そこで、ポナペ産業開発は主に観光客への直接販売と日本の薬品会社への産直による新規マーケットの開拓と JICA の融資制度を活用した島内におけるコショウ栽培の活性化に乗り出した。栽培計画の策定に当たり、栽培適地選定のための土壌調査並びに栽培現況の調査が実施された。

調査概要

ポナペ島においてはコショウだけでなく、バニラ、イランイラン、シャカオといった植物が栽培されており、農業試験場においては試験研究も行われている。このため、これら有用植物の栽培に関する情報収集ならびに現地調査を行った。特に、コショウに関しては島内に分布する栽培農家を訪問し、立地や栽培手法に関する調査を行った。さらに、農業局によってコショウ栽培の適地とされている場所においては、土壌調査を行った。これらの結果を基に、ポナペ島におけるコショウ栽培の事業計画を策定した。

担当事項

- コショウ及び他の有用植物の栽培に関する情報収集並びに現地調査。
- 島内に分布するコショウ栽培農家における生産並びにマーケティングの現況調査。
- 島内に分布するコショウ栽培適地における土壌調査。
- 調査結果の解析に基づいた栽培適地や適正栽培手法を含む事業計画の策定。

